

# 中学校第3学年 道徳科 学習構想案（例）

日 時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

場 所 〇年〇組教室

指導者 教諭 〇〇 〇〇

## 1 学習構想

主題名	広い心 （内容項目B（9）：相互理解, 寛容）	
ねらいと教材	(1) ねらい 野田と鳥居が永遠の友情を誓い合うようになった経緯と心情の変化について話し合うことを通して、互いに理解し合い謙虚に他者から学ぶことの大切さに気付き、自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築いていこうとする態度を育てる。 (2) 教材名 寛と赫雄 出典：「熊本の心 中学校（熊本県教育委員会）」	
評価の視点	評価の視点1	評価の視点2
	野田と鳥居の心情の変化について、多面的・多角的に考えている。	自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築いていくことについて、自分との関わりで考えている。
<b>目指す生徒の姿</b>		
自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築いていこうとしている生徒		
主題に迫る学習課題（本時）		本主題で働かせる見方・考え方
自分と異なる意見や立場の人とよい関係を築くために大切なことについて考えよう。		自分と異なる意見や立場の人とよい関係を築いていくことについて多面的・多角的に考え、自分との関わりで考えながら、今後の自己の生き方について考えを深めていくこと。
<b>内容項目相互の関連的・発展的な指導、各教科等や体験活動等との関連的指導</b>		
行事	道徳科	日常生活
<b>2年「立志式」</b> 将来の目標や夢について考え、これからの目標や決意を伝え合うことで、相互理解を図る。	<b>3年「ある和菓子店」</b> 出典：中学道徳 あすを生きる3（日本文教出版） B(9)相互理解, 寛容	<b>ペア・班活動</b> 相手の考えを聞き、自分の意見を整理して伝える。  <b>係・委員会活動</b> お互いの事情を整理し協力し合う。  <b>部活動</b> 個々の得意・不得意を理解し、お互いの努力や立場を尊重して支え合う。
<b>3年「少年の主張」</b> テーマを決め、自分の思いを素直に語り合い、温かい返しの言葉を伝えることで、他者の思いや背景を受け止めることのできる寛容な心を育む。	<b>2年「寛と赫雄」(本時)</b> 出典：熊本の心 中学校(熊本県教育委員会) B(9)相互理解, 寛容 <b>主題名 広い心</b> 野田と鳥居が永遠の友情を誓い合うようになった経緯と心情の変化について話し合うことを通して、互いに理解し合い謙虚に他者から学ぶことの大切さに気付き、自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築いていこうとする態度を育てる。	

## 2 主題設定の理由

### 学習指導要領における該当箇所

本題材は、内容項目B（9）「自分の考えや意見を相手に伝えとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと」を基にしたものである。

入学して間もない時期には、新たな環境や出会いの中で見方や考え方の多様性を実感することが多くなり、自分の考えや意見と相手の差異を理解しつつも、自分の考えや意見を伝えることの大切さを感じる機会が増える。また、学年が上がるにつれて、他者との考えや意見の違いが明らかになることを恐れたり、過剰に同調したりする傾向も生じやすい。

指導に当たっては、自分の考えや意見を伝えること、そして互いの個性や立場を尊重し、広い視野に立っているいろいろなものの見方や考え方があることを理解できるよう指導することが大切である。

### 本主題における系統

#### 小学校第3学年及び第4学年 内容項目 B(10)相互理解,寛容

自分の考えや意見を相手に伝えとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。

教材名「心をしずめて」

主題名 相手とわかり合って

出典:生きる力3（日本文教出版）

教材名「ちこく」

主題名 相手のことを考えて

出典:生きる力4（日本文教出版）

#### 小学校第5学年及び第6学年 内容項目 B(11)相互理解,寛容

自分の考えや意見を相手に伝えとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重すること。

教材名「折れたタワー」

主題名 広い心

出典:生きる力5（日本文教出版）

教材名「ブランコ乗りとピエロ」

主題名 広く受け入れる心

出典:生きる力6（日本文教出版）

#### 中学校 内容項目 B(9)相互理解,寛容

自分の考えや意見を相手に伝えとともに、それぞれの個性や立場を尊重しいろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他者に学び、自らを高めていくこと。

教材名「言葉の向こうに」

主題名 お互いの立場の理解

出典:中学道徳 あすを生きる1（日本文教出版）

教材名「コトコの涙」

主題名 人から学ぶこと

出典:中学道徳 あすを生きる2（日本文教出版）

教材名「寛と赫雄」（本時）

主題名 広い心

出典:熊本の心 中学校（熊本県教育委員会）

### 生徒の実態

#### ■学習するにあたっての学級及び生徒の様子

#### ■学習に関する意識の状況

本主題に関わる生徒の実態（アンケート〇人調査）

質問事項	よくあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
①自分の意見や思いを他者に素直に伝えている。				
②他者の意見を素直に受け入れることができている。				
③自分と異なる性格や意見の人と対立した経験がある。				
④日常生活や学校生活において、自分と異なる性格や意見の人と出会ったとき、どうしますか。それはなぜですか？	積極的に関わって理解しようとする	様子を見て、可能なら関わる	できるだけ関わらない	全く関わらない

#### ■考察

## 教材の価値

本教材は、佐々友房先生の教えを受け、私立済々黌の教師となり、学校の改革に努力するとともに、熊本中学校の校長として多くの人材を育てた野田寛と、朝日新聞社の記者となり、勇気ある筆をふるいながら、後に大正日日新聞社を設立し言論界をリードした鳥居素川の旧制中学時代のエピソードである。

教材を通して、初めは憎しみ合っていた野田と鳥居が永遠の友情を誓い合うようになった経緯と心情の変化について話し合うことを通して、互いに理解し合い謙虚に他者から学ぶことの大切さに気づき、自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築いていこうとする態度を育てることができる教材である。

### 3 指導に当たっての留意点

#### 【導入・終末の工夫】

- 事前に、自分の思いを素直に伝えることや他者の意見を受け入れること、自分と異なった性格や意見の人と出会ったときの自分の行動についてアンケート調査を行い、授業の導入においてその結果を提示し、本時の学習に対する興味・関心を高める。また、中学校卒業後の生活の中での人間関係づくりを想像させ、自分事として考えさせる。
- 授業の終末では、本時の授業で学んだことや考えたこと、これまでの自分と異なる考えや立場の人との関わり方を振り返り、今後はどのような心を大切にしていきたいか考えさせる時間を十分に確保し、ペアや全体で共有する。

#### 【発問の工夫】

- 野田と鳥居がお互いの思いを伝え合い謝罪する場面をペアで役割演技し、セリフを自分なりに考えさせることで、素直に自分の思いを伝えたときや相手の謝罪を受け入れたときの気持ちを体感させ、思いを伝え合い理解しあうことの大切さに気付かせる。
- 生徒が多面的・多角的に考えを深めることができるよう、事前に「二人の共通点は？」「自分だったら謝れる？」など、補助発問や繰り返し発問を準備しておく。
- 生徒と教師の対話、生徒と生徒の対話を大事にし、生徒の表情や意見をもとに、補助発問や繰り返し発問をする。また、他の生徒に問い返したり、広げたりする発問も取り入れ、考えを深められるようにする。

#### 【指導方法の工夫】

- 教材の内容を十分理解した上で本時の学習に入るようにするため、事前に教材を一読する時間を設定する。
- まずは個人でじっくり考える時間を確保し、相手に積極的に伝え、相手の考えを真剣に聞き、他者から学ぶ姿勢を大切にしよう指導する。

#### 【板書の工夫】

- 生徒の意見はキーワードや短い言葉・文などで板書し、野田に関わることと鳥居に関わることに分けて板書する。二人に共通することは中央に板書するなど、考えを整理しやすいよう構造的な板書を心がける。

#### 4 本時の学習

##### (1) ねらい

野田と鳥居が永遠の友情を誓い合うようになった経緯と心情の変化について話し合うことを通して、互いに理解し合い謙虚に他者から学ぶことの大切さに気付き、自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築いていこうとする態度を育てる。

##### (2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	5分	<p><b>1 アンケートの結果をもとに考える。</b> ○アンケートの結果を見て感じたことを発表しよう。 ◇自分と異なる人と対立した経験がある人が多い。 ◇関わるのが難しかったら、関わるのを止めるかも。</p> <p><b>2 中学校卒業後の新しい環境での自分の行動について考える。</b> ○高校などで、クラスや部活に自分と全く違うタイプの人がいたらどうしますか。 ◇積極的に関わり、理解する。 ◇様子を見て、可能なら関わる。 ◇関わらない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート結果をもとに、いろんな人と仲良くすることは大事だと分かっているけど、異なる性格や意見の人と関わっていくことは難しいと感じている自分に気付かせたい。</li> <li>異なる性格や意見の人ともよい関係を築いていく必要があることに気付かせ、本時の学習課題につなごう。</li> </ul>
<b>【学習課題】 自分と異なる意見や立場の人とよい関係を築くために大切なことについて考えよう。</b>			
展開	35分	<p><b>3 教材の動画を視聴し、話し合う。</b> (1) 教材について感想を伝え合う。 ◇野田君は下級生のために学校に訴えにいくなんて勇気と責任感がある。 ◇野田君が自分から鳥居君に謝りに行ったのはすごい。自分なら謝りには行かないと思う。 ◇鳥居君はひどいことをしたけど、自分のことを野田君に素直に話して反省したことがすごい。</p> <p>(2) 野田と鳥居がお互いの思いを伝え合い謝罪する場面をペアで役割演技する。演技後に、どんな気持ちになったかを伝え合う。 ◇自分の気持ちを伝えてスッキリした。 ◇相手の気持ちを知ることができて嬉しい。 ◇互いに理解し合えた感じがした。友達として関わっていきたいという気持ちになった。</p> <p>(3) 永遠の友情を誓い合う野田と鳥居の行動や心情について考える。(個人→班→全体)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【中心発問】</b> ◎初めは憎しみ合っていた二人が、永遠の友情を誓い合うまでに仲を深めることができたのはなぜだろう。</p> </div> <p>◇周囲の助言を素直に受け入れ、反省したから。(謙虚な心、素直な心) ◇自分の考えを伝えるために勇気をもって自ら行動したから。(誠実さ、勇気) ◇謝罪を受け入れる広い心があったから(寛容な心) ◇相手を理解したい、友達になりたいという気持ちがあったから。(個性の尊重、相互理解) ◇他者から学び、自分を成長させたいという気持ちがあったから。(向上心)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【期待される学びの姿】</b> 話し合いでは、自らの考えをもち、積極的に伝え、相手の考えを真剣に聞き、共感的な反応や返しをすることで考えを深めようとしている。</p> </div> <p>○二人の友情はなぜ晩年まで続いたのだろう。 ◇本音で語り合ったから。 ◇互いに成長し合える関係だと気付いたから。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野田と鳥居の性格や行動に注目しながら話を聞くよう、視聴する視点を事前に伝える。</li> <li>感想を伝え合うことで、教材の理解を促し、登場人物の行動に対する生徒の考えを把握する。</li> <li>野田君の課題や弱いところはないか問い、考えを広げさせる。</li> <li>教科書を閉じ、自分だったら何をどのように言うかセリフを考えさせる。素直に自分の思いを伝えたとときの気持ちや相手の謝罪を受け入れたときの気持ちを体感させ、思いを伝え合い理解し合うことの大切さに気付かせる。</li> <li>2人が手を固く握り合う場面も動作化させ、その時の気持ちを考えさせる。</li> <li>まずは個人でじっくり考える時間を確保する。班での話し合いでは、積極的に伝え、相手の考えを真剣に聞き、共感的な反応や返し、問い返しをするなど、安心して伝え合える雰囲気をつくり、考えを深めさせたい。</li> <li>司会カードや返しの仕方を書いたシートを活用して考えを伝え合わせる。</li> <li>生徒の意見は、キーワードや短い言葉・文で板書し、野田に関わることと鳥居に関わることに分けて板書する。二人に共通して関わることは中央に板書するなど、考えを整理しやすいよう構造的な板書にする。</li> <li>生徒の意見をカテゴリー化し、キーワードでまとめる。</li> </ul>
		<p><b>4 自分と異なる意見や立場の人とよい関係を築くために大切なことは何か自分の言葉でまとめる。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>板書やワークシートの意見を参考に、考えをまとめさせる。</li> </ul>

終末	10分	5 自分を見つめ、これからの生き方を考える。 ○これまでの自分自身の人間関係と今日の学習を振り返り、自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築くために、これから特にどんなことを大切にしていきたいか、あなたの考えを書こう。	・授業全体を通して考えたことを、自分自身の経験と重ねながらワークシートに書くようにする。
		6 二人のその後の社会貢献と教師の説話を聞く。	・今後、自分と異なる人や考え方に会ったときがチャンスであり、寛容で広い心をもつことでよい人間関係を築いたり自分を成長させたりすることができることに触れ、よい関係を築いていこうとする意欲を高める。

【評価の視点1】野田と鳥居の心情の変化について、多面的・多角的に考えている。(方法：発言・ワークシート)  
 【評価の視点2】自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築いていくことについて、自分との関わりで考えている。(方法：発言・ワークシート)

【板書計画】

### 28 寛と赫雄(熊本の心)

○高校などで、自分と異なる人がいたら?  
 ◇積極的に関わる ○人  
 ◇可能なら関わる ○人  
 ◇あまり関わらない ○人  
 ◇関わらない ○人

**学習課題**  
 自分と異なる意見や立場の人ともよい関係を築くために大切なことについて考えよう。

○ 相手の意見も尊重しつつ自分の意見も尊重してもらえるような関係をつくること  
 ○ 最初から自分とは合わないと思わずに、自分から相手を理解しようと行動すること

野田 政雄  
(寛)



鳥居 赫雄  
(素川)



**野田君**



- 周囲の助言を素直に受け入れ、反省  
**謙虚さ、素直さ**
- 勇気をもって自ら行動  
**誠実さ、勇気**

**鳥居君**



- 謝罪を受け入れる広い心  
**寛容さ**

○ 相手を理解したい、友達になりたい  
**個性の尊重、相互理解**

○ 他者から学び、自分を成長させたい  
**向上心**



